

学習や生活に関する改善プラン

※本改善プランは、岡山市教育委員会の統一した様式です。

本校は、全国学力・学習状況調査結果をもとに授業等の改善を行うため、「学習や生活に関する改善プラン」を作成しました。本校の状況を知っていただいた上で、子どもたちの学習や生活習慣の改善に向けて支援していただければありがたいと思います。

なお、さらに詳細な結果について、調査対象の学年に配付することとしています。

【全国学力・学習状況調査結果の概要】

成果

国語では、文の中で漢字を正しく使う設問で全国平均を上回る正答率でした。朝の学習時間を活用し、繰り返し漢字練習を行ってきたことによって力が付いてきていると思われる。算数では、速さを求める式の意味を理解したり、条件に合う時間を求めたりする問題では全国平均を上回る正答率でした。引き続き前学年に学習したことの復習や基礎的な計算力の定着を図ることができるとしていきたくと考えています。

質問紙の調査から「学校生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いのよさを生かして解決方法を決めている」に対する肯定的な回答の割合が全国平均を共に上回っていました。自分で思っていることや感じていることを言葉で表し、互いの意見の良さを認め合いながら話し合うことができていることが分かりました。今後も学級会や各教科の授業を通して、よりよい学校生活を送れるよう児童自身が主体的に話し合う機会を大切にしていきたいと考えています。

課題と対応

国語では、目的や意図に応じて理由を明確にししながら自分の考えを書く問題、算数では、問題文や資料から必要な情報を読み取り、データを活用する問題に課題が見られました。特に記述式の問題では、正答率が低く、無解答の割合が高くなっています。普段の授業の中で既習事項を振り返って自分の考えをもちやすくすることや、考えを整理したりまとめたりする手立てとして書く機会を増やすことが必要だと考えています。

質問紙調査の結果から、「自分にはよいところがある」という設問に対して、肯定的でない回答をした児童が約40パーセントいました。互いの良いところを見つけ、カードに書いて伝え合う「キラリカード」などの取組で周囲の人から認められる機会をもち、自分の長所を知ることができるようにしていきたいと考えています。

【保護者・学区の方へのお願い】

質問紙調査「家で、自分で計画を立てて勉強をしている」という質問では、肯定的でない回答をした児童が約43パーセントいました。4年生・5年生で行った学力アセスの結果の値と比べると「当てはまる」と回答した児童は増えてきていますが、全国平均の割合を下回っています。各家庭に配付している「学びの手引き」をもとに、学校の宿題や授業の予習・復習など家庭学習の習慣付けについて引き続き支援をお願いします。

令和3年度学習や生活に関する改善プラン(岡山市学力アセス)

※本改善プランは、岡山市教育委員会の統一した様式です

本校は、岡山市学力アセスの調査結果をもとに授業等の改善を行うため、「学習や生活に関する改善プラン」を作成しました。本校の状況を知っていただいた上で、子どもたちの学習や生活習慣の改善に向けて支援していただければありがたいと思います。

【岡山市学力アセスの調査結果から】

成果

	教科・質問紙	成果
第4学年	国語	物語において登場人物の気持ちや行動を叙述に即して読み取ることができる。
	社会	スーパーマーケットの販売の工夫について理解している。
	算数	□などの記号を使って立式することができる。
	理科	音の性質について理解している。
	学習状況	めあてをもとに学習を進めることができる。
第5学年	国語	説明文において筆者が挙げる事例とそれに対応する資料を叙述を基に捉えることができる。
	社会	ごみの減量について、自分の生活と関連付けた対処の仕方を考え、表現することができる。
	算数	四則計算、小数や分数の計算ができる。
	理科	気温の変化と植物の成長の関係をグラフから読み取ることができる。
	学習状況	話し合う活動を通して自分の考えを深めたり、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めたりすることができる。

課題とその対応

	教科・質問紙	課題	対応
第4学年	国語	説明文の内容を正しく読み取ることに課題がある。	国語では、文章を読み取る上で特に必要な語句や表現をおさえながら、内容や構成を捉えられるよう授業で指導する。算数では、朝学習の時間を利用して下学年で学んだことを反復させ、苦手としている部分の復習を取り入れたい。理科や社会では、児童の生活経験と結び付けて学習を行うことで、興味関心をもちながら学習し、誰もが自分の考えをもって授業に参加できるようにしていく。また、どの教科でも、学んだことをもとに自分の考えを相手に分かりやすく伝える機会を設け、学んだことを他教科等横断的に活用できる場面を意図的に設定することも必要であると考え。学習状況については、チャレンジウィーク等の取組を通して、メディアの利用の仕方について継続して指導を行い、家庭での時間の使い方について考える機会をもてるようにする。
	社会	交通事故に合わないために自分ができることを考え、表現することに課題がある。	
	算数	重さを読み取ったり、重さの単位の意味を理解することに課題がある。	
	理科	電気を通す物や明かりがつく導線のつなぎ方を理解することに課題がある。	
	学習状況	1日当たりのゲームやインターネットをしている時間が長い。	
第5学年	国語	修飾語・被修飾語の関係を理解することに課題がある。	教材研究を丁寧に行い、国語では主語と述語や修飾語など文の成分についておさえながら、内容や構成を捉えられるよう指導する。また、社会や理科では、資料や実験などから分かったこととその理由について学習に用いた語句をキーワードとして用いながら表現する機会を設け、学習したことを覚えるだけでなく、自分なりにまとめたり活用したりするようにする。算数では、自分の考えを説明する活動を増やし、自分なりの言葉で表現する学習経験を大切にしたい。学習状況については、図書館と連携して学習に関連した本を紹介するなど、読書を楽しめるようにしたり、図書資料を用いてより詳しく調べたりするなどして、読書に対する意欲を高められるような取組を続けていく。
	社会	資料から地形や気候についての特徴を読み取り、表現することに課題がある。	
	算数	角の大きさについて求める手順を説明することに課題がある。	
	理科	金属の温まり方を理解することに課題がある。	
	学習状況	学校の授業時間以外の1日あたりの読書の時間が長い。	

【保護者・学区の方へのお願い】

多くの児童が「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う」と回答しました。学校での指導だけでなく、家庭・地域でもいじめをなくし、一人一人が楽しく学び、いきいきとした学校生活を送ることができるように支援をしてくださっているおかげです。また、各家庭に配布している「学びの手引き」をもとに、家庭学習の習慣付けや「学習中はテレビを消す」など学習する時のルールづくりについても引き続き支援をお願いします。